

令和2年度 港南台地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

■ 地域の現状と今後の方向性

1 地域の現状

- (1) 高齢化率が30%を超えたが要介護認定率は低く、元気な高齢者が多い。
- (2) 集合住宅では高齢者の単身世帯率が27%と区平均に比べ、非常に高い。
- (3) 地域活動者の高齢化に伴い、世代交代が進んでいる。
- (4) 介護事業所数が区内で最も多く、医療機関も多い。連携に協力的な医療機関が多い。
- (5) 障がい者支援の施設、学校が多く、転入者も増え、支援者が不足している。
- (6) 外国にゆかりのある世帯が増え、異文化マナー等の課題がある。

2 今後の方向性

- (1) 地域や区、関係機関・関係事業者等との連携を強化し、福祉保健課題の解決に向けて地域福祉計画を推進していきます。
- (2) 地域包括ケアシステムの推進に向けて取り組んでいきます。（認知症サポーター養成講座、地域ケア会議、介護予防・生活支援サービスの充実）
- (3) 「共助」の取組を厚くするために取り組んでいきます。（福祉ネットワーク）
- (4) ボランティア活動の担い手育成に向けて取り組んでいきます。
- (5) 高齢になっても、いつまでも健康で生活が続けられるように支援を進めます。
- (6) 子どもや子育て中の世帯が暮らしやすい、明るい街づくりに努めます。
- (7) 障がい児・者を支えるボランティア育成と、交流を通じた心のバリアフリーに努めます。
- (8) 地域防災対策の必要性が高まっています。要援護者を支援するとともに、福祉避難所としての役割を果たしていきます。

■ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域や関係機関と連携し、福祉保健課題の解決に向けて地域福祉計画を推進していきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域包括ケアシステムの構築に向けて、一人暮らし高齢者の身元保証システムの構築等、権利擁護に関する取組を進めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	在宅医療と介護の連携の推進した取組として、病院やケアマネジャーとともに研修会の企画・開催を進めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護予防・生活支援サービス総合事業「こもれびカフェ」において、要支援者の利用が拡充するよう、ケアマネジャーへの更なる周知を進めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	移動販売の利用状況の分析を行い、地域での孤立解消に向けた取組を、企業と連携して進めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	制度の狭間を担う「福祉ネットワーク(助け合い活動)」では、ボランティア発掘と育成を強化し、街の魅力につながるよう進めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	特別支援学校や障がい児者施設等も多く、社会に参加しやすい環境づくりを進めます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	外国にルーツを持つ子どもや、子育て世帯の支援としてホームページのリニューアルに伴い、SNS等を活用して必要な方へ情報が届くよう仕組みづくりを進めます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	災害時に要援護者の避難支援を確実にできるよう、福祉避難所の運営ボランティアの組織づくりを進めます。

## ◆ 事業報告・事業実績評価

### 振り返り

今年度はコロナ禍で事業などはほとんどが開催できませんでしたが、その間今までの業務の見直しをすることができました。これまでは人と会うことで様々な支援を行ってきましたが、様々な制約により会うことが難しくなり支援方法も考えさせられる1年でした。今後は環境を整えながらオンラインなど人が集まらなくても実施できる方法を取り入れることで、今までとは違う新たな取組も模索していきます。

### 区からのコメント

「認知症カフェ」も9月以降形を変えて再開し、協力医の参加により家族の方が気軽に相談でき、認知症の方も立ち寄れる場所になっています。また、コロナ禍における地域課題を抽出するため地域ケア会議を開催し、課題解決に向けた具体的な取組みとして「高齢者に向けたスマホ教室」を開催しました。移動販売では、荷物が重く購入をためらう高齢者の課題を地域課題と捉え、福祉ボランティアネットワークが買い物補助の活動を始めるなど、取り組みに広がりが見られています。

エンディングノートの書き方講座は内容が充実しており、そのノウハウを他のケアプラザとも共有し、区全体の底上げに力を貸していただきますようお願いいたします。

令和2年度はコロナ感染防止のため、諸室の貸出しや相談業務、各種事業の実施などに様々な制限が求められました。そうした中でも、工夫を凝らしながら、関係者との協働により地区別計画の策定を達成するなどの成果も上がっています。今後、ますますのニーズ増が見込まれるICTの利活用については区役所としても各種取組の提案や情報提供などに努めていきます。引き続き、地域の皆様の期待に応えられるよう、適切・健全な施設運営をお願いいたします。